

# くらしとにぎわい 次代に紡ぐまちづくり



くらし



にぎわい



持続可能なまちづくり

常陸多賀駅及びその周辺地区の持続可能な魅力あるまちづくりを計画的に推進するため「常陸多賀駅周辺地区整備計画」を策定しました。

## まちづくりの目標

### 誰もが暮らしやすい高質な生活空間の創出【くらし】

子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすい生活空間を創出するとともに、豊かな自然環境や優れた都市景観の整備・保全を推進しながら、安全・安心で質の高い生活空間を創出します。

また、ひたちBRTや鉄道、デマンド型交通などの公共交通の利便性向上を図りながら、過度に自家用車に依存しない「歩いて暮らせるまちづくり」を推進するとともに、情報通信技術や環境技術などの活用によるスマートシティの実現を目指します。



### 人々が集い、交わる魅力的な賑わい空間の創出【にぎわい】



都市の拠点として、地域に根ざした活力ある商業・業務機能の集積を図るとともに、まちに住む人々やまちを訪れる学生、ビジネスパーソン、観光客など、多様な人々が集う交流機能の立地を誘導しながら、「常陸多賀」ならではの文化と魅力を発信するにぎわい空間を創出します。

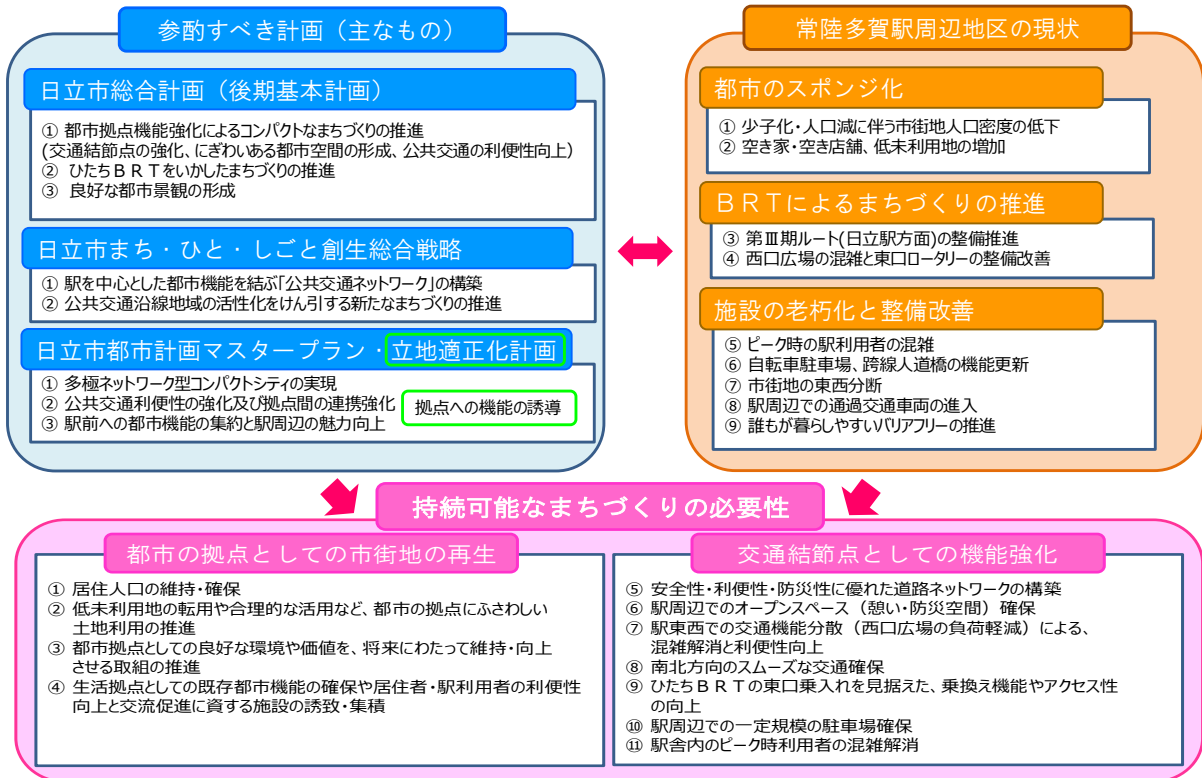
### 多様な担い手の共創による持続可能なまちづくりの推進【持続可能なまちづくり】

地域のまちづくり活動に幅広い世代が参画する体制を構築するとともに、コミュニティ、行政だけではなく、学生や有識者、民間事業者などとの連携を図りながら、将来にわたって「常陸多賀」の良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための取組を推進します。



目標の実現に向け、常陸多賀駅周辺地区の「都市の拠点としての市街地の再生」と「交通結節点としての機能強化」にハードとソフトの両面から取り組みます。

## 地区の課題と施設整備の必要性



## 施策の体系とまちづくりの方針



## 短期的・重点的に実施する施設整備の方針



①	<p>◆東口広場の整備</p> <p>ひたちB R Tの乗入れが計画されている駅の東側に新たな広場を整備し、駅の新たな「顔」として、鉄道等との乗換機能を強化するとともに、西口広場の交通負荷の軽減を図ります。</p>
②	<p>◆東西自由通路・駅舎の整備</p> <p>東口広場の整備にあわせて東西自由通路を整備し、東西市街地の一体化による駅利用者の利便性向上と東西交流の促進を図ります。また、自由通路の整備に支障をきたす常陸多賀駅舎は、自由通路と一体的に改築し、駅構内の移動円滑化と交通利便性の向上を図ります。</p>
③	<p>◆駅周辺低未利用地の活用</p> <p>駅西側に隣接する市有駐車場は、まちづくりを進めていくうえでの重要な場所であり、「駅周辺のにぎわいを連鎖させるための核」としての役割が期待されています。そのため、地域・事業者・行政等の連携のもと、その効果的な活用方法について調査・検討を進めます。</p> <p>また、活用の前提として、民間投資が誘発されやすい環境や地域の中で経済を循環させるサイクルの構築などが重要であることから、地区内の空き家・空き店舗の更なる利活用やまちづくり人材の育成、民間まちづくり活動の基盤となる体制の構築、街なかの回遊性向上に向けた取組などを推進し、地区のポテンシャル向上を図ります。</p>
④	<p>◆南北アクセス道路の整備</p> <p>ひたちB R Tの駅周辺運行ルートを整備とあわせて、東口広場へのアクセス道路を整備し、一般車両の円滑な移動動線を確保します。</p>

### 【補足事項】

- 東口広場や南北アクセス道路の配置や規模、規格などは、今後、鉄道事業者との協議やひたちB R Tの駅周辺運行ルート整備計画などを踏まえながら、詳細な検討を進めます。
- 自由通路及び駅舎の整備については、令和2年度に実施する基礎的な調査を踏まえて、鉄道事業者との協議を進めます。施設の規模や駅舎のデザインなどの詳細については、今後、検討を進めます。

### 【事業スケジュール（想定）】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
東口広場整備	調査・設計				工事				
南北アクセス道路整備				都市計画手続	工事				
自由通路・駅舎整備	調査・設計				工事				
低未利用地の活用	活用方法の調査・検討				利活用の実現				
	まちづくり人材の発掘・育成支援								
	まちづくり組織の体制構築				まちづくり組織によるまちづくりの推進				
	まちづくり組織への支援								
	空き地・空き店舗の活用								

## まちの賑わい創出に向けた考え方

本計画では、駅周辺の施設を一体的に、短期的・重点的に整備することとしています。  
これらの公共投資の効果を速やかに周辺商業エリアへ波及・持続させることができるよう、民間投資が誘発されやすい環境や、地域の中で経済を循環させるサイクルの構築に向け、施設整備（ハードの整備）とあわせて、ソフト面での取組を推進します。

- 「街なかの空き地・空き店舗の利活用」や「まちづくり人材の育成」、「エリアのポテンシャルの維持・向上を図るための体制作り」などを推進します。

### ■ 人材育成サイクルとまちづくり体制の構築イメージ

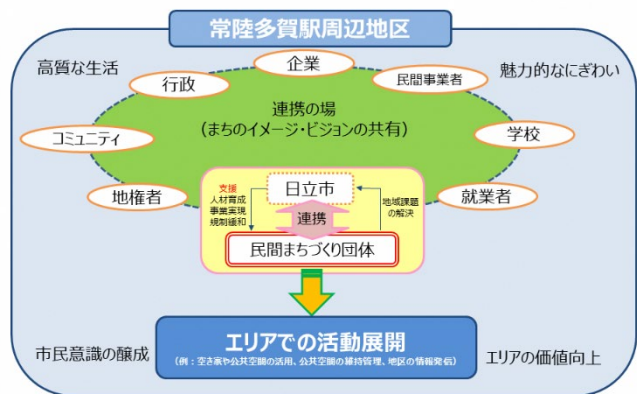
#### ○ 人材の掘り起こし

- 新たな担い手や後継者向けのワークショップやセミナーの開催
- 商工会議所や起業家交流グループ、創業支援ネットワークなどの活用
- まちづくりの仕掛人や意欲ある事業オーナーなどの「個」の力の活用

#### ○ 起業が始めやすい環境を地域につくる

- マイクロレイションオフィスやコワーキングスペースの提供
- 不動産オーナーへの啓発、協力要請
- 公共空間の開放（ポップアップショップ、屋台など手軽に出店できる場の提供）

#### ○ 人的資源・ノウハウの蓄積、ネットワークの構築



○ 空き店舗のシャッターが開く → 点から線・線から面への展開 → 民間投資の誘発  
(エリアポテンシャルの向上)

○ 地域に根差した人材の育成 → 地域資源活用・地産地消 → 地域内での経済循環

○ 組織としての活動展開 → 地域課題の解決 → 良好な環境や地域の価値を維持・向上  
(エリアマネジメントの実現)

↓

エリアの空間需要の喚起 → 民間投資の誘発

- 街なかの回遊性向上に向け、滞留・交流拠点のネットワークや、地域の自然資源を活用した緑のネットワークを構築することで、「居心地が良く歩きたくなる街なか」の実現を図ります。



■ 公共空間の活用による街なか拠点創出のイメージ  
(国土交通省資料)



■ 緑のネットワークのイメージ

【編集・発行】

日立市 都市建設部  
常陸多賀駅周辺地区整備担当

〒317-8601 日立市助川町1丁目1番1号  
電話 0294(22)3111 FAX 0294(21)7750  
ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp>  
メールアドレス [tagaeki@city.hitachi.lg.jp](mailto:tagaeki@city.hitachi.lg.jp)